



令和5年度 農村RMO推進フォーラム（中国四国農政局）

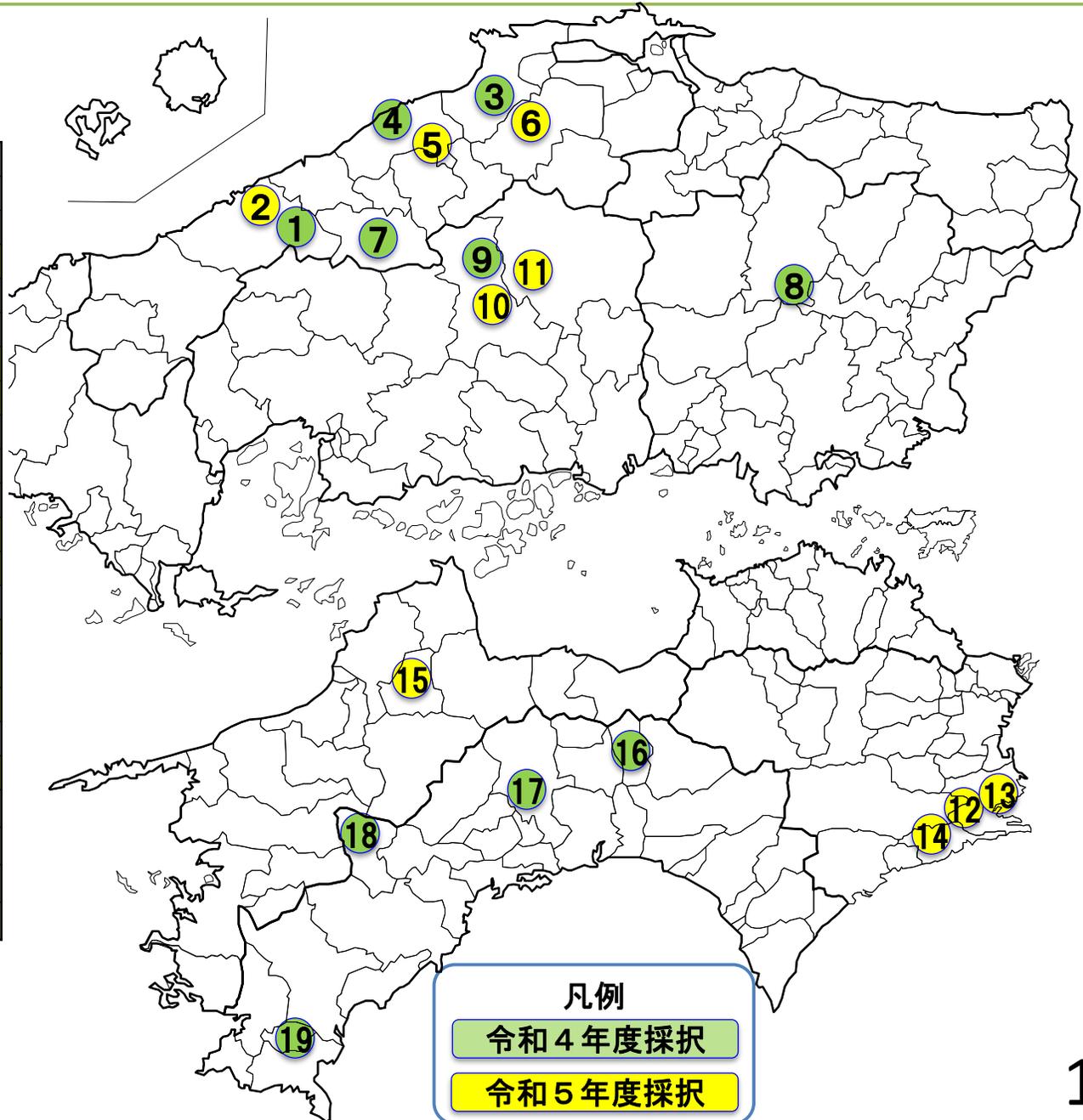
中国四国農政局管内の事例紹介

令和5年11月9日

農林水産省 中国四国農政局
農村振興部 農村計画課

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

県名	市町村名	事業主体名	番号
鳥取県			
島根県	浜田市	和田地区まちづくり推進委員会	1
	浜田市	今福まちづくり委員会	2
	出雲市	佐田地域づくり協議会	3
	大田市	久利・大屋地区小さな拠点推進協議会	4
	大田市	池田集落協定運営委員会	5
	雲南市	躍動と安らぎの里づくり鍋山	6
	邑南町	出羽地域運営協議会	7
岡山県	真庭市	吉縁起村協議会	8
広島県	三次市	石原集落地域振興協議会	9
	三次市	田幸地区町内会連合会	10
	庄原市	庄原市山内集落地域振興協議会	11
山口県			
徳島県	阿南市	加茂谷RMO推進協議会	12
	阿南市	椿町農村RMO運営組織協議会	13
	美波町	赤松地区農村RMO推進協議会	14
香川県			
愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	15
高知県	本山町	本山町農村みらいの会議	16
	いの町	明るい柳野を創る会	17
	橋原町	集落活動センター「四万川」推進委員会	18
	三原村	(一社)三原村集落活動センターやまびこ	19



管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
1	和田地区まちづくり推進委員会	島根県浜田市	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●先進地視察・研修会の開催 ●組織化も視野に入れた地域の担い手確保 ●収益性向上のため営農作業の効率化、コスト削減を検討 ●基盤整備(圃場整備)の検討 ●デジタル技術を活用した有害鳥獣対策
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●農用地管理省力化及び転用作物の検討 ●地域資源(和田の桃等)の存続 ●空き家の有効活用の検討 ●先進地視察・研修会の開催 ●えごま省力化栽培の実証事業 ●デジタル技術を活用した外部への情報発信強化(地域魅力発信) ●石見神楽の継承
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●先進地視察・研修会の開催 ●デジタル技術を活用した生活支援、地域内コミュニティの強化

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
2	今福まちづくり委員会	島根県浜田市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●「守るべき農地」と「守り切れない農地」の棲み分け調査 ●高齢者でも栽培・管理しやすい「さつま芋栽培」を普及による遊休農地の解消
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源の起爆剤としてさつまいも栽培の普及を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・今福まちづくり委員会の産業振興部会を中心に、産直もやい市を核とした、高齢者が栽培する野菜・果物・苗もの等の集出荷体制の構築 ・「さつま芋実証農園」を中心に、実証圃ハウスの設置、複数苗の試験的栽培の実施（適応する品種苗を選抜）、高齢農家に配布によるさつま芋栽培を普及 ・実証農園の暗渠排水工事、芋保管庫の整備。 ●観光資源である鉄道土木遺産のブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> ・「今福線を守る会」を中心に、鉄道手拭い等を作成 ・宣伝活動を行うことにより、今福線応援団の呼び込みを図る。
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●交通弱者への持続可能な体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・行政への事業継続(あいのりタクシー等運行支援)の働き掛けを行うとともに、買物バス運行を継続。

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
3	佐田地域づくり協議会	島根県出雲市	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで集落ごとの取り組みであった農用地保全を、佐田地域全体の共通課題との認識へ <ul style="list-style-type: none"> ・佐田地区集落営農連絡協議会や中山間直接支払制度、多面的機能支払交付金に取り組む各農業団体との連携強化
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的な地産地消、地産外消につ地域内農産物の物流システムの再構築 <ul style="list-style-type: none"> ・農業関係者だけではなく、商工・観光業関係者等と連携 ●見落とされていた農林産物を資源として再発見 <ul style="list-style-type: none"> ・女性や若者、中学生の新たな視点も取り込み、地域で愛されていく産品を開発
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して住み続けられる佐田を実現 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者と商工業者の連携による買い物支援等、生活支援の仕組みを確立 ・福祉関係者との連携も図り、地域内高齢者の生活を支え、生きがいを作っていくための取り組みを実施

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
4	久利・大屋地区小さな拠点推進協議会	島根県大田市	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	●協議会や中山間、多面に取り組む他団体とも共有し連携を図り、農地の確保に結びつけるように検討
地域資源活用	●地域資源を有効に生かす工夫や、幅広い年齢層をターゲットにした地域資源をみんなで検討
生活支援	●10年後、20年後も安心して暮らせる地域を目指し、地域で課題の抽出や生活支援のあり方を検討

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
5	池田集落協定運営委員会	島根県大田市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●農業を行っている個人・法人向けに、効率化・省力化の技術導入 ●手間がしのマッチングの仕組みづくり。 ●耕作放棄地について、GI登録されている三瓶そばの生産に向けて検討・実証を実施
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●自家農園における情報収集（生産物調査）を実施 ●マーケットの常設化 ●加工品製造について、課題把握、ニーズ把握を実施し、商品化に向けた取組を実施
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●将来を考えたときに、不安は何か、何があれば安心かを全世代の声をきき、意見を元に必要な仕組みを検討する。 ●加工品製造と併せて、食事の支援についても検討する。

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
6	躍動と安らぎの里づくり鍋山	島根県雲南市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●鍋山地区集落連携協議会（令和2年発足）の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接払制度に取り組む全組織、鍋山担い手ネットワーク協議会および躍動鍋山で構成 ●草刈り等の作業支援体制の整備、拡充 ●鳥獣害被害の減少に向けた具体的対策を検討し実践
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の産直市等への集荷及び出荷体制の確立、集荷拠点の基盤整備 ●高齢化や担い手不在等により耕作が困難となった農用地の管理 ●定年帰農者等の新たな生産者への農用地の提供（または貸与） ●栽培にかかる技術講習会の開催 ●生産者の組織化、通年での生産、新たな特産品の開発などにより安定的な生産・出荷が可能な体制を整備し、売上を拡大
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●地区計画の基本方針である「みんなで安全で安心に、いきいきと暮らせる鍋山」を継続的に実現 ●農業者だけでなく地域住民一体となり、地域の高齢者の見守りや生活支援、また農業生産を通じた生きがいつくりに取り組む。

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
7	出羽地区運営協議会	島根県 邑智郡邑南町	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●農家個々の希望は尊重しつつ、今後農地として活用していくために最善の形状を大胆に提案し最終形を図化 ●園芸転換(高収益化、農家誘致)、耕畜連携等による粗放的管理(放牧・牧草・飼料作物)や堆肥活用の実践 ●鳥獣害対策の強化、管理しやすい農地への転換(基盤整備の検討) ●畦畔、用排水路、道路法面等の管理作業の共同化 ●園芸区画の整備や田舎暮らしモデルの提示により新規就農者の誘致
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家活用推進機能を再構築し田舎暮らしモデルの継続的な提供 ●町有施設の指定管理等を検討し、地域生活環境の維持を図る。 ●邑南町の再エネ活用計画との連携により、ソーラーシェアリングをはじめとした再エネの活用促進に向けた実証 ●農地や住環境維持のための里山活用をすすめ、薪ストーブ等身近な再生可能エネルギーの利用促進 ●生涯現役として農産物の生産に関わる人や非農家等の営農を支援するシステムの構築により農福連携による地域資源(農地)の有効活用。 ●耕畜連携による循環型農業の推進を図るため、堆肥活用等を進めるためのシステム構築 ●グリーンスローモビリティや電動自転車を導入し、地域内循環・トレール環境を整え滞在時間を延ばすことで関係人口確保

●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none">●交通システムに関する方向性を確定、出羽スタイル（道の駅出荷・道の駅からの関係人口誘客と地域交通の融合等）貨客混載・確立にむけ実証●農業者や生活者の共通課題である雑草処理の効率化に向け、リモコン草刈り機等の導入●作業機器のオペレーターやITリテラシーの獲得に向けた資格取得等の支援を行い、地域維持活動に参加する人材の確保と活用促進●デジタル技術の活用により、地域通貨や人材バンクにアクセスしやすい環境を整備するとともに人材・通貨の管理業務の効率化を図る

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
8	吉縁起村協議会	岡山県真庭市	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間直接支払交付金制度を利用する岩坪・林集落協定を中心に農用地面積の拡大と遊休農地等の活用を継続 ●再生を予定している農地について自走式ラジコン草刈機を導入して農地を良好な状態に維持 ●地元猟友会と連携した農地の保全(鳥獣害対策)についての継続的な協議、検討。行政と財源について協議
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●データを活用して収益性を検討し、持続可能な地域資源の活用となるよう検証と改善を実施
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●広域連携を模索し、利用可能な施設を搜索する。 ●農産物の地域内集荷体制についてデマンド交通も含め検討

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
9	石原集落地域協議会	広島県三次市	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●多面的機能及び中山間直接支払の交付金等を活用し施設の強靱化を推進 ●効率的な機械作業が可能となるよう基盤整備を推進 ●農業経営者としてマーケティングや労務管理等を意識できる経営感覚を養成 ●都市住民等と連携した交流農業、地産地消の拡大による所得向上 ●原材料の共同購入による生産コストの削減 ●人・農地プランの見直しと集落一体となった鳥獣被害防止対策を図り、活用農地の適正管理と担い手への集積

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none">●直売所等への共同出荷のための軒先出荷を推進●住民の匠の技や生き方を活用した、四季折々の緑農体験交流プログラムにより交流人口を拡大●高幡観音へのアクセス道が整備されたのを好機として、歴史を紐解き新たな物語を創造し、参拝人口を拡大●集落の厄介者となっている孟宗竹を活用したメンマづくりを6次産業の突破口に、複数の加工品づくりを推進
生活支援	<ul style="list-style-type: none">●民生委員、地区社協担当、地区振興区長等と連携し、訪問カレンダーを作成し、高齢者世帯の安心暮らしを支援●商品チラシ等を作成し、日用品の調達を支援●集落事業者対象のプレミアム集落商品券を発行し、買い物を通じた集落への出歩きを促進●臨床心理士等との連携を図り、集落内で気軽に養育などの相談ができる機会づくりを推進●子どもの農業体験を通じた親や子ども同士のコミュニケーションの機会づくりを推進

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
10	田幸地区町内会連合会	広島県三次市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間直接支払制度等の広域化による担い手と地域が連携した農地保全の新たな仕組みづくり(二階建て方式) ●法人間連携の構築による地域農業維持・発展の取組 ●人材バンク制度による担い手の確保 ●地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施による農地保全
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●都市住民などとの交流事業によるツナガリ人口の拡大や販路拡大による所得向上 ●不作付地を活用した地域住民による農業生産の仕組みづくり ●地域の施設を活用した直売による地産地消の推進 ●空き家を有効活用した交流事業や定住対策の推進
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員、地区社協などと連携した高齢者の暮らしの支援 ●買い物や通院が困難な住民に対する交通システム構築による支援 ●小・中学校等と連携した交流事業の実施

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
11	庄原市山内集落地域振興協議会	広島県庄原市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●多面的機能及び中山間直接支払の交付金を活用し、施設の強靱化を推進 ●中山間地域で活用できるスマート農業技術の導入を図り、農作業労務の軽減・省力化を推進 ●効率的な機械作業が可能になるよう、基盤整備を推進 ●農業経営者として、マーケティングや労務管理等を意識できる経営感覚を養成 ●都市住民等と連携した交流農業、地産地消の拡大による所得向上 ●農業者の所得向上を図るため、付加価値を付けた米の海外輸出を推進 ●人・農地プランの見直しと集落一体となった鳥獣被害防止を図り、活用農地の適正管理と担い手への集積を推進

●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●集落の厄介者となっている竹林の整備と合わせ、整備後に発生する竹の廃材(竹チップ・竹粉)の有効活用 ●牛糞堆肥と混合・発酵させ、土壌改良材(保水性・透水性・保肥性の改善、酸性土壌の中和)として圃場に散布 ●竹堆肥による「J-クレジット制度」等への申請・認可(実証研究等により削減量の証明が必要) ●竹堆肥により栽培した地域のブランド米「里山の夢」を使った売れる農産物の開発と6次産業化を女性会を中心に行ない、働く場を創出 ●一級河川西城川沿いの高茂地区における小水力発電の可能性を検証し、地域の電力源として活用
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●「おたがいさまネット」による地域の高齢者・一人暮らしの見守り活動を推進 ●「定住促進プロジェクト」による地域外からの移住者の受入れを図ると共に、空き家の整備等を推進 ●子供の農業体験を通じた食教育と後継者育成を推進

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
12	加茂谷RMO推進協議会	徳島県阿南市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●多面的機能支払交付金の活動組織、中山間地域等直接支払交付金の集落協定と連携 <ul style="list-style-type: none"> ・事務作業の受託等による各組織の労力軽減、集落間連携の調整、外部人材の活用により継続した取組体制を構築 ●水管理、農用地の保全及び鳥獣被害防止設備の見回り対応等についてICTを活用し、維持管理を省力化・高度化
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●加茂谷地域のブランドであるチンゲンサイ、すだち、イチゴ他の「儲かる農業」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者・移住就農者への技術継承 ・ICTを活用したスマート農業用ハウスの導入 ・県、市と連携し、就農及び定住人口の増大を図る。 ●安定した自主財源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで行ってきた遍路道、特産品及び観光資源を活かしたイベントについて、集客力の強化、収益性の確保についても検討、実践

●取組概要

分野	概要
生活支援	<p>●地域が安心して暮らせる魅力ある農村づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・阿南市と連携・協力により、通学・買い物といった移動支援制度を導入するため、既存公共交通との共存など、地域の実情を踏まえた制度の在り方について検討を行い、導入計画に基づき実証・移住者、地域への訪問者ー地域住民間で交流できる拠点の整備し、特産品の販売や子育て支援や就農環境を巡る各種課題を「相談しやすい環境」を構築

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
13	椿町農村RMO運営組織協議会	徳島県阿南市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●農地の適正管理の推進、活用の体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金の活動組織との連携による遊休農地の解消、耕作放棄地の普及、粗放的管理の導入 ●人口減少社会に対応した農業の在り方について検討、実証 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用排水路などの維持管理の省力化・高度化や鳥獣害対策のICT導入 ・担い手農家が委託している農地におけるスマート農業の導入
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●外貨獲得の手段の多様化による地域の魅力向上、定住・関係人口を増加 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業導入と合わせ女性農業者による施設園芸の本格的導入 ・六次産業化の推進 ・地域直売所の販売力強化

●取組概要

分野	概要
生活支援	<ul style="list-style-type: none">●移動支援や買い物支援の強化を図り、地域直売所を活用したコミュニティー空間の活用を促進●同施設を拠点として移動販売支援や買い物支店の取組について導入推進●ICTを活用した高齢者見守りサービスの導入による全ての住民が安心して暮らせる地域作り

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
14	赤松地区農村RMO推進協議会	徳島県 海部郡美波町	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 交付金事務を協議会が担う体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払交付金の集落協定、多面的機能支払交付金の活動組織と連携し、組織の広域化及び事務手続の一本化 ● 耕作放棄地の発生抑制、優良な農地の維持・保全及び将来に向けて農業が継続可能な体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各組織の労力軽減、集落間連携の調整、効率的な農地利用計画の策定と外部人材の活用を推進 ● 人口減少社会に対応した農村集落の在り方について検討、実現 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家のICTに関する知見が十分浸透していない現状において、理解の醸成 ・ 将来的に農業用排水路などの維持管理の省力化・高度化やスマート農業の導入の推進

●取組概要

分野	概要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●県と連携して「稼げる農業」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の新規作物導入、六次化の品目増加について検討 ・地域の伝統産業である「樵木（こりき）林業」により産出された樫の薪炭化の実践 ・地域内における産直市の開業・販売 ●定住・交流人口の増大 <ul style="list-style-type: none"> ・「赤松神踊り」、「赤松神社奉納吹筒花火」、人形浄瑠璃「赤松座」等の地域資源を活用し、農泊推進やサテライトオフィス誘致
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●「買い物難民」「移住難民」の発生を防止し、自家用車がなくとも住み続けることができる持続可能な農村集落づくり <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者単身世帯の買い物支援、移動支援及び農産物の集出荷支援（混載含む）を強化

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
15	奥松瀬川地区農村活性化協議会	愛媛県東温市	R5～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●継続性のある農地の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・現存する耕作放棄地及び地域計画に基づいた今後10年以内に耕作放棄地になる予定の農用地を優先し、地域運営組織が管理する農用地として保全・管理を実施 ・水稻よりも反収がよく、栽培管理が高齢就農者や新規就農者であってもしやすい作物を選定
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●対象エリア内に現存または新植される農作物（果樹、野菜等）を地域資源と定義し、6次産業化を目指す ●加工場の確保、原料及び加工品の保存、様々な作物に活用できる汎用性の高い加工品目の選定、販売先の開拓等、農業収益を確保するための実証を実施
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や女性も参画できるように、体への負荷が少ない農作物の栽培管理及び加工管理体制の構築 ●慣れ親しんだ地域で働き、地域住民が交流を深められる生活支援システムの検証

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
16	本山町農村みらい会議	高知県 長岡郡本山町	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●担い手農家が経営を継続できるよう、労働力補完や農業機械の共同化などの仕組みを検討 ●農地保全の取り組みを進めるため、農地保全計画の検討 ●地域のまとまりを形成するため交流の場づくりなど上記取り組みと関連させて実施
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●関係人口の拡大などにつなげるため、地域資源やイベントなどの情報発信の方法を検討 ●地域資源の磨き上げ、景観保全などにも取り組む。
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、買い物支援や見守り活動の試行、共助の仕組みづくり（お仕事バンク）などを検討

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
17	明るい柳野を創る会	高知県 吾川郡いの町	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●農地保全の将来ビジョン（集落戦略など）の実践と見直し ●農地維持のための共同作業の継続
地域資源活用	●地域農産物を活用した新たな商品開発や既存商品のブラッシュアップを目指し、レシピの検討や試作品づくりを実施
生活支援	●高齢者を対象に見守り活動、地域の食材を使った配食サービス、地区の防災活動の取組を継続

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
18	集落活動センター「四万川」推進委員会	高知県 高岡郡梶原町	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	●中山間地域等直接支払等を活用した農地保全活動を継続。 アシストスーツを活用した共同作業の省力化の実証
地域資源活用	●キジ生産部会による生産拠点の形成と商品開発の実証 ・集落活動センターが事業継承し、飼育力・加工能力強化のため、飼育施設、加工施設を建築予定（県単補助） ●新商品の開発を行い、販路拡大
生活支援	●安心安全サポート（農産物の集出荷と併せた高齢者の見守りなど）の実施に向けた検討・試行

管内の農村RMOモデル形成支援事業実施地区

番号	協議会名	県・市町村	開始年度
19	(一社)三原村集落活動センター やまびこ	高知県 幡多郡三原村	R4～

●取組概要

分野	概要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域等直接支払及び多面的機能支払を有効活用し、活動を継続 ●地域で農地・農業施設を将来にわたって維持していくための対策を話し合い
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ●「三原米のブランド化の推進」により、農地を守り担い手を確保 ●地域の魅力を発信し、移住促進等につなげるため、体験メニュー（ポタリング）の開発を行い、都市農村交流の取組を拡充
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物拠点施設の継続支援、集いの場「やまびこカフェ」の運営（本交付金対象外） ●防災意識の啓発や、緊急時の高齢者等に対し避難施設等への誘導補助（本交付金対象外）